

ActiveActivity 対話の架橋 第4話

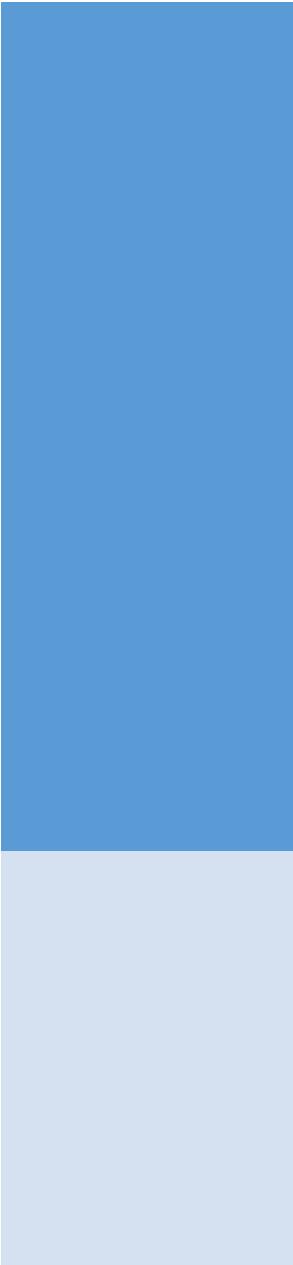
山中教育長との対話

R6.7.4 (木)

メンバー
文化振興課
市民協働課
内陸フロンティア推進課
会計課

河西
藤原
小笠原
芦沢

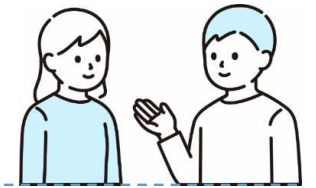




目的

入庁10年未満の職員が教育長との対話を通して、市の方針や教育長の思いを聞くことで、業務に対する理解を深める。

対話の内容をご紹介します



Q1 教育長の1日はどんなスケジュールですか？

建設課 新村技術員

好きな島田の〇〇：茶の都ミュージアムのお茶ペロンチーノ

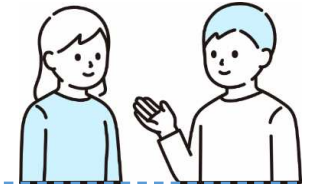


（手帳を見せながら）
今週だけでも詰まっていますが、毎日様々な業務があります。毎朝庶務が予定を伝えてくれるので、休みが欲しい日は事前に伝えています。



好きな島田の〇〇：誇れる歴史と文化

対話の内容をご紹介します



環境課 中村書記

好きな島田の〇〇：デザインマンホール（特に帯祭り）

Q2 仕事をする上で大切にしていることは何ですか？



私の中の筋として、頼まれたら断らない。

「**YESとはいと喜んで**」という言葉で、今も昔も大切にしています。また、いやだと思ってこなすのではなく、楽しんで取り組むことも必要です。



対話の内容をご紹介します



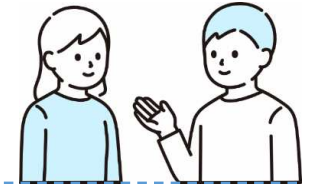
Q3 仕事とプライベートを切り替えるコツを知りたい！

市民協働課 八木書記
好きな島田の〇〇：人の温かさ

まずは仕事のけじめをつけるようにする。
忙しいのは承知しているが、スイッチを切り替える
のは自分自身。遊ぶときは遊ぶと決めて、自分の中
で区別をつけるために早く帰りましょう！



教育長からの逆質問



Q1 現代社会では転職が当たり前となっているが 実際に若い人たちはどう思ってるの？

転職は必要だと思います。ですが、困難な局面に直面したときに乗り越えることで、自分の成長ややりがいを感じられるため、続けて行く事も大切だと思います。



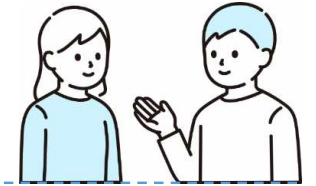
考え方は人それぞれではあるものの、続けるからこそわかることもあると思います。また、一度お世話になった方とのご縁を大切に働いていきたいという思いがあります。



自分自身は、やると決めたことはやり抜く性格。父と約束した「**つらい時こそあと一步**」という言葉大切に、苦しい時こそ一步踏み出す勇気を大切にしたいと思っています。



教育長からの逆質問



Q2 座右の銘や好きな言葉はありますか？ 教育長の座右の銘『夢からはじまる』

『ちりも積もれば山となる』

『急がば回れ』

何事も楽をせず丁寧に取り組むことを大切にしたい



『やまない雨はない』

『克己心』

目標に向かって粘る、諦めないという精神



『つらい時こそあと一步』

『コツコツが勝つコツ』

見えない努力が自身の糧となり力となっている



参加者の気づき・思い



『涙を流しても大丈夫。そうしたら強くなれる。』という教育長のお言葉に感銘を受けました。この言葉を胸に今後の仕事に取り組んでいきます。また、「国外に行き日本を外から見る大切さ」や「積立年金」についてなど、業務とは少し離れているけれど、自分とは切っても切れない大切なお話を伺うことができ、とても勉強になりました。



「夢からはじまる」という言葉を伝えてきたというお話が印象的で、何かをするうえで大切なことを思い出しました。また、対話の最後に「みなさんなら大丈夫」とお声がけをいただき、勇気が湧きました。子供たちの背中を押してきた教育長からたくさんの温かいお言葉をいただき、私たちの背中も押されたように感じました。



入庁2年目となり業務に慣れてはきましたが、何年たっても「前向きに」「積極的に」取り組む姿勢で業務に努めたいと思うことができました。教育長から自分の悩みに対するアドバイスもいただき、抱えていた不安もなくなりました。仕事の話からプライベートの話まで伺うことができ、大変貴重で有意義な時間となりました。



次回は、染谷市長との対話の予定です。楽しみに！